



今一度ノーマライゼーションについて考えよう
**「ともに学びともに生きる」 大阪大東市の実践から
山本和儀先生をしのんで 2**

施設長 松島栄一

しばらくしてから、山本先生が我が家に宿泊をすることがありました。「千葉の幕張というところで話をすることになったから、泊めてくれないかと」先生のほうから連絡をいただきました。その夜、齋藤理事長との会談も実現。なんか微妙な緊張感が漂い、思ったより話はずまなかったという印象がありました。でも帰りの車中で、山本先生が、「あの人はたいしたもんや、すぐわかる。筋を曲げない立派な方や。ただちょっと硬いがな。」と大阪の人らしく話していました。山本先生曰く、「目的のためなら、酒でも何でも飲んで仲よくなってしまふことや。実を取らなアカン」「教育委員会の人間も堅物ばかりやない。味方につけてしまふんや。」とよく言っていました。互いに筋は曲げないのですが、その手法は随分と違うものだと思います。

山本先生の地域リハビリテーションの考えは、千葉では浦安市に息づいています。当時の研究会でも、「浦安には弟子がおる。」と紹介もしていただきました。浦安では基本的に障害児が希望すれば地域の小中学校が受け入れ、必要に応じて補助教員を配置することとしており、これもまた不思議な縁だなと思いますが、わが娘が昨年浦安市で小学校の教員となり、やはり受け持ちのクラスにも障害のある児童がいて補助の先生がついているとのことでした。娘曰く、「はじめからそうなので別に違和感はない」「大変な子どもはほかにもいるから」とのことです。浦安では一つの当たり前になっているのだなと思うわけです。一度仕組みができそれが定着すれば当たり前になって行くのだなとつくづく思うわけです。その話を他の地域の先生に話すと「浦安はお金があるからできることだ」という返事が返ってきます。でもそれは何がよくてどこにお金を使うかという問題だと思うのですが…。

山本先生には、わが息子（ダウン症の次男）の進学するときにも「地元の学校に入れなアカン。今まであなたがやってきたことが無駄になるで」とアドバイスをいただきました。今その言葉がようやくわかった気がします。その先生も、今から5年ほど前にお亡くなりになってしまいました。不思議な御縁でしたがいろんな意味でお世話になった先生です。

7月・8月の予定

7月19日(火)～健康チェック週間
7月21日(木) 摂食介助指導

8月12日(金)～15日(月):夏季休業
8月22日(月):健康チェック週間

～7月「けやき」ミニ・ギャラリー①～

<7月13日 船橋ららぽーと外出 「けやき・風」>



平日の昼間の「ららぽーと」でしたが、それなりに人で賑やかでした！

フードコートにはいろいろなお客さんもいて、ちょっと緊張気味でしたが、表情はみんないい感じ！



「これ頼んじゃったよ！」「どう！スゴイ？」

「まずは食べてみよっ♪」

「うん…♡」

お願い 「けやき」の活動の様子の画像を今年度も「木洩れ日」や「行き活き展用のポスター」などに掲載したいと思います。掲載を希望しない利用者・保護者の方は、お手数ですが「けやき」(担当；西)までご連絡下さい。

次号予告

復活！「タツ千鬼」(コラム・リレー)

～お読みになった感想や叱咤激励大募集!!～

このタイトルを覚えていらっしゃる方はおいででしょうか？

けやき2年目から少しの間、「木洩れ日」に連載されていたスタッフがリレー形式で自由に書くコーナーです。このたびスタッフ研修の一環として再開させていただきます。お読みになった感想や叱咤激励など何かあれば、是非お声をお聞かせ下さい。では、次号以降をお楽しみに！

「木洩れ日」の発送作業は

「けやき・光」がやっております！

光グループの大切な作業の一つに、この「木洩れ日通信」の発送準備という作業があります。何をしているかというと

- ① 木洩れ日を入れる封筒の絵描き、色付けと製作者のハンコ押し
- ② 差出人（けやき）のハンコ押し
- ③ 木洩れ日を3つ折する作業
- ④ 折った木洩れ日を封筒に入れ、のりで封をする
- ⑤ あて先のシールと切手を貼る

以上で終了!!

といった手順で作業をすすめていきます。

それぞれやることがある中で、皆さん得意分野があるようで――

事務員さんのようにハンコをポンポンと連続で押していくのが好きな人。

職員の、封筒を置くテンポが本人のテンポと違うと「早く!!」と催促されちゃいます。軽く折り目を入れておいた木洩れ日をアイロンがけするようにきっちりと折ってくれる人。

時々、予定枚数以上を熱心に折り続ける方もいます。(笑)

大好きな色や画材を選んでそれぞれが、その日の自分の感じたままに

封筒に絵を描く人や、色をつける人。

ひと筆、シュッとラインを入れて出来上がりという人もいれば、封筒全体を丁寧に塗っていく人もいて、ホントにその人独自のセンスです。

あて先のシールや切手を力をこめて貼ってくれる人。

時々、シールが曲がって貼られていることもありますが、それはその人の芸術的なバランス・センスのなせる業です。

①～⑤の作業。光のメンバーは1週間かけて行います。

「えっ?そんなにかかるの?」と思われる方もいるかと思いますが、一つひとつの作業を、みんな一人ひとりやりやすい作業形態とテンポで行っていると、それぐらいかかるのです。でもみんなが少しでも楽しくやりがいを持って作業していくための大切な大切な時間だと思っています。

これからも一通一通心をこめて発送していきたいと思っておりますので、

けやきとあわせて「木洩れ日通信」も

あたたかく見守っていただけたら

うれしいです。(深山)

～7月「けやき」ミニ・ギャラリー②～

<7月13日 船橋ららぽーと外出 「けやき・光」>

なんと！中華料理のお店に入ってしまった。メニューは漢字ばかり。店員さんも中国人ばかり。



困った皆は「ニイハオ！」「シェイシェイ！」と繰り返し、食べ終わったら「ロン！」と言ったとか言わないとか…。でも美味しかったそうですよ～！

お知らせ～今年度、ビーバー号はありません～

これまで毎年行ってきた、けやきの歯科検診（千葉県歯科医師会が行ってくれるビーバー号）は今年度、とても残念なことに抽選に外れてしまいました。毎年来てくださるのを感謝しつつも半ば当たり前のように感じていたのですが、最近は申し込んでも2、3年に1回程度で当たる、とのこと。申し訳ありませんが、今年度の歯科検診は行いませんので、御了承下さい。来年は当たりますように…。

編集後記 ▼去る7月1日(金)に「けやき」を休業して職員で施設見学に埼玉県川口市の「工房 集」というところへ行ってきました。▼「集」には、人とかがわって生きていくことが大変な仲間がたくさんいるようで、確かに「ざわめき」も感じたのですが、一方で「まとまり」のような、「落ち着き」のような、一種独特の雰囲気の中、それぞれがそれぞれの場所で絵や機織に取り組んでいたり、過ごしていたり。実際に、取り組んでいる作品はどれもその人らしさがありました。▼そして職員の話からは「地道な積み重ね」と「熱さ」を感じてきました。気がつけば、私たち「けやき」職員は「集」職員の話に熱心に耳を傾けていたり、ひたすら質問をしていたり、まさに昼直前まで濃密な時間を過ごしていたようです。▼お蔭様で「けやき」休業してまで行ってきた甲斐がありました。▼さて、ここからです。私たち職員が感じてきた「熱さ」をどう「けやき」の仲間と生かし、さらにはそれを「地道な積み重ね」としていけるのか。確かなビジョンを持って一つひとつを次に生かし、積み重ねていくこと。早速、職員会議で、お互いが持ち帰ったものを「けやき」のビジョンに、活動に、かわりに生かすべく話を積み上げて生きたいと思っています。▼埼玉の暑さは確かに暑かったけれど、「集」も熱かった！のでした。この夏、このアツサを力に！
(決して若いとは言えないけれどアツサはまだまだ持っている西)